



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 株式会社トーマンデバイス 上場取引所 東
 コード番号 2737 URL <https://www.tomendevices.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妻木 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 原 英記 TEL 03-3536-9150
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|---------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第2四半期 | 150,939 | 20.0 | 1,626 | △13.4 | 1,619 | △13.3 | 1,172 | △14.8 |
| 2020年3月期第2四半期 | 125,781 | 26.4 | 1,878 | △14.1 | 1,867 | 13.4 | 1,376 | 21.4 |

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,001百万円 (△16.7%) 2020年3月期第2四半期 1,202百万円 (△7.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 172.41 | 151.45 |
| 2020年3月期第2四半期 | 202.46 | 175.04 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2021年3月期第2四半期 | 104,139 | 32,007 | 30.5 | 4,664.62 |
| 2020年3月期 | 92,510 | 31,917 | 34.2 | 4,653.66 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,725百万円 2020年3月期 31,651百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | - | 0.00 | - | 150.00 | 150.00 |
| 2021年3月期 | - | 0.00 | - | - | - |
| 2021年3月期（予想） | - | - | - | 120.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 245,000 | △5.9 | 2,900 | △35.9 | 2,800 | △36.0 | 2,100 | △37.9 | 308.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご参照下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2021年3月期2Q | 6,802,000株 | 2020年3月期 | 6,802,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期2Q | 736株 | 2020年3月期 | 666株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2021年3月期2Q | 6,801,301株 | 2020年3月期2Q | 6,801,389株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 6 |
| 3. 補足情報 | 6 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、緊急事態宣言の解除により経済活動の水準は持ち直し傾向にあったものの、企業は新型コロナウイルス感染症の流行が再拡大する危機への対応のほか、業績の悪化を背景に、設備投資には慎重姿勢がみられ、個人消費も雇用所得環境の悪化により、自粛ムードが残存しており、経済活動の回復ペースは緩やかにとどまっております。また、世界経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響は再拡大による長期化が懸念されるなか、米中摩擦の激化による影響など、不透明感が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、コロナ対策に伴うリモートを支えるデータセンター、PC、タブレットPC等の需要に加え、米国による輸出規制強化の影響を受けてスマートフォン関連に局地的な需要の強さがあったものの、前期末前後の前倒し需要で積み上がった在庫の調整が進むなど、当社の主要取扱い製品であるメモリーの一部製品において緩やかな価格下落がありました。

このような状況下、当社グループは、新規顧客開拓や既存ビジネスのシェア拡大により、国内市場においてデータセンターストレージ向けおよびPC向けにDRAM、NAND FLASH製品の売上が堅調であったこと、スマートフォン向け有機ELパネルの売上が伸びたこと、海外市場においてはスマートフォン向けにMCP（DRAMとNAND FLASH製品を1つのパッケージにしたもの）の売上が大きく伸びたこと、引き続き高精細カメラCIS（CMOSイメージセンサー）を拡販したことから、売上高は1,509億39百万円（前年同期比20.0%増）と第2四半期連結累計期間では過去最高を更新いたしました。しかし、メモリー価格の下落等、当社グループを取り巻く市場環境は厳しく、営業利益は16億26百万円（同13.4%減）、経常利益は16億19百万円（同13.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億72百万円（同14.8%減）となりました。

なお、品目別の実績については、6ページの「3. 補足情報（品目別販売実績）」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産の残高は1,041億39百万円（前連結会計年度末比12.6%増）となりました。これは主に受取手形及び売掛金と商品が増加したことによるものです。

負債は721億32百万円（同19.0%増）となりました。これは主に買掛金、短期借入金および前受金が増加したことによるものです。

純資産は320億7百万円（同0.3%増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2020年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,594 | 2,955 |
| 受取手形及び売掛金 | 50,567 | 60,771 |
| 電子記録債権 | 3,765 | 4,175 |
| 商品 | 22,941 | 25,305 |
| 前渡金 | 3,012 | 3,642 |
| 預け金 | 3,309 | 4,613 |
| その他 | 912 | 1,208 |
| 流動資産合計 | 91,104 | 102,672 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 72 | 80 |
| 無形固定資産 | 199 | 174 |
| 投資その他の資産 | 1,133 | 1,212 |
| 固定資産合計 | 1,406 | 1,467 |
| 資産合計 | 92,510 | 104,139 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 37,059 | 44,951 |
| 短期借入金 | — | 2,449 |
| 未払法人税等 | 509 | 723 |
| 前受金 | 9,246 | 11,839 |
| 賞与引当金 | 187 | 128 |
| 未払金 | 12,028 | 11,445 |
| その他 | 1,092 | 110 |
| 流動負債合計 | 60,123 | 71,647 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 429 | 444 |
| 繰延税金負債 | 0 | 0 |
| その他 | 38 | 39 |
| 固定負債合計 | 469 | 484 |
| 負債合計 | 60,593 | 72,132 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,054 | 2,054 |
| 資本剰余金 | 1,984 | 1,984 |
| 利益剰余金 | 27,169 | 27,430 |
| 自己株式 | △1 | △1 |
| 株主資本合計 | 31,205 | 31,467 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 136 | 239 |
| 繰延ヘッジ損益 | △21 | 12 |
| 為替換算調整勘定 | 330 | 5 |
| その他の包括利益累計額合計 | 445 | 257 |
| 非支配株主持分 | 266 | 281 |
| 純資産合計 | 31,917 | 32,007 |
| 負債純資産合計 | 92,510 | 104,139 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 125,781 | 150,939 |
| 売上原価 | 122,564 | 148,004 |
| 売上総利益 | 3,216 | 2,935 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,337 | 1,309 |
| 営業利益 | 1,878 | 1,626 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 143 | 5 |
| 受取配当金 | 8 | 9 |
| 持分法による投資利益 | 23 | 3 |
| その他 | 4 | 18 |
| 営業外収益合計 | 179 | 36 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 47 | 6 |
| 債権売却損 | 10 | 1 |
| 為替差損 | 119 | 22 |
| その他 | 11 | 12 |
| 営業外費用合計 | 189 | 42 |
| 経常利益 | 1,867 | 1,619 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,867 | 1,619 |
| 法人税等 | 463 | 426 |
| 四半期純利益 | 1,404 | 1,193 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 27 | 20 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,376 | 1,172 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,404 | 1,193 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △70 | 103 |
| 繰延ヘッジ損益 | 12 | 34 |
| 為替換算調整勘定 | △143 | △330 |
| その他の包括利益合計 | △201 | △191 |
| 四半期包括利益 | 1,202 | 1,001 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,181 | 988 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 21 | 13 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(品目別販売実績)

| 品目別 | 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) | | 当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | | 増減率 (%) | 前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日) | |
|---------|---|------------|---|------------|------------|--|------------|
| | 金額(百万円) | 構成比 (%) | 金額(百万円) | 構成比 (%) | | 金額(百万円) | 構成比 (%) |
| メモリー | 71,038 | 56.5 | 95,760 | 63.4 | 34.8 | 151,349 | 58.1 |
| システムLSI | 36,466 | 29.0 | 37,808 | 25.0 | 3.7 | 75,697 | 29.1 |
| 半導体小計 | 107,504 | 85.5 | 133,568 | 88.5 | 24.2 | 227,046 | 87.2 |
| 液晶デバイス | 11,433 | 9.1 | 7,753 | 5.1 | △32.2 | 19,105 | 7.3 |
| その他 | 6,844 | 5.4 | 9,618 | 6.4 | 40.5 | 14,216 | 5.5 |
| 合計 | 125,781 | 100.0 | 150,939 | 100.0 | 20.0 | 260,367 | 100.0 |

(メモリー半導体)

DRAM、NAND FLASH等の一部製品において緩やかな価格下落があるものの、データセンターストレージ、PC向けにDRAM、NAND FLASH製品の売上が拡大したこと、また、中国においてスマートフォン向けMCPの売上が伸びたことから、この分野の売上高は957億60百万円(前年同期比34.8%増)となりました。

(システムLSI)

国内市場において、ファウンドリービジネスが堅調であったこと、中国市場においては、スマートフォンの複眼化および高精細化により、高画素CISの売上が拡大していることから、この分野の売上高は378億8百万円(同3.7%増)となりました。

(液晶デバイス)

国内・海外市場共に主にテレビ向け液晶パネルの売上が大幅に減少したことから、この分野の売上高は77億53百万円(同32.2%減)となりました。

(その他)

国内市場において有機ELパネルがスマートフォンの新モデルに採用され売上が伸びていること、工作機等向けのバッテリー等の売上が拡大したことから、この分野の売上高は96億18百万円(同40.5%増)となりました。

(ご参考)

「メモリー」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

DRAM、NAND FLASH、MCP(マルチチップ・パッケージ)、SSD(ソリッドステートドライブ)等

「システムLSI」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

SoC(システム・オン・チップ)、DDI(ディスプレイドライバーIC)、CIS(CMOSイメージセンサー)等

「液晶デバイス」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LCD(液晶パネル)等

「その他」に含まれる主な商品は以下のとおりです。

LED、有機EL、MLCC(積層セラミックコンデンサ)、バッテリー等